



認知症看護認定看護師の福元看護長から  
概要説明がありました。  
その後、ビデオを見て、実際に演習をしました。

■ 2017. 11. 20

専門看護師や認定看護師が主催している勉強会の一つに参加しました。テーマは「認知症患者の対応方法～ユマニチュードについて～」です。

ユマニチュードは、フランスから入ってきた認知症ケアの技術です。知覚・感情・言語からのコミュニケーションに基づいた技法で、「人とは？」「ケアをすとは？」を問う哲学とそれに基づく実践技術から成り立ちます。ユマニチュードの基本的概念が4つあります。

- ①見る:職業人として「見る」。視線をつかみに行く。
- ②話す:声のトーンを意識して常に声を欠け続ける。
- ③触れる:包み込むように優しくゆっくりと触れる。
- ④立つ:1日20分以上は立つ機会を持つ。

急性期病院ではどうしても身体的ケアが主体となりますが、昨今では認知症ケアの優先順位が上がっています。そして、これは優しさを伝える技術ですので、認知症以外の全ての患者さんに提供するケアだと再認識しました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。